

【令和8年5月11日（月）・5月13日（水）】

西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合の方針（案）に係る地域住民説明会 議事概要

### ○開催概要

会議等名	西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合の方針（案）に係る地域住民説明会
日時	①令和8年5月11日（月）14：30～15：15 ②                  "                  15：30～15：50 ③令和8年5月13日（水）14：30～15：00 ④                  "                  15：30～16：00
場所	①②西浦南保育園2階 遊戯室 ③④小鈴谷保育園3階 遊戯室
参加者	市民：①～④合計10名 常滑市：こども健康部長、こども保育課長 こども保育課指導主事2名、担当職員2名 西浦南保育園園長、小鈴谷保育園園長

### ○議事概要

#### 1 開会

#### 2 こども健康部長 挨拶

- 市の児童福祉への協力を謝辞。
- 令和6年11月に再編計画を策定し、西浦南保育園と小鈴谷保育園については「統合の方向」で検討。
- 2回の意見交換会・アンケート調査結果を踏まえ、統合の方針（案）をまとめ、住民説明会の開催に至った。

#### 3 職員紹介

#### 4 資料の確認

#### 5 資料の説明

「西浦南保育園・小鈴谷保育園の統合の方針（案）について」

##### （1）経過

- 令和6年11月に公表した「常滑市立保育園・こども園再編計画」において、西浦南・小鈴谷保育園は統合の方向で検討することとしていた。

##### （2）アンケート調査・地域住民意見交換会結果

- 令和7年度に意見交換会・アンケート調査を2回実施。アンケートについて、1回目では移転新設を支持する意見が49%、集約を支持する意見が35%であり、2回目のアンケートでは移転新設が66%、集約が34%となった。
- 主な意見として、移転新設については老朽化への不安や安全性、設備充実への期待が挙げられた。一方、集約については、少子化の中での新設コストへの懸念や、既存施設の活用を求める意見があった。

### (3) 統合の方針（案）

- 公立園の役割、両園の老朽化、公平性、交通利便性、防災面などを総合的に考慮し、両園の中間地点への移転新設が適当である方針とする。

### (4) 移転・新設の候補地／新設保育園の規模

- 候補地は南陵公民館周辺の市有地である苅屋農村公園で、面積が3,871㎡あり、新設園の整備に必要な規模を満たしている。

### (5) 工事費の試算（参考）

- あくまで参考であるが、新設の場合は約7億1,200万円、大規模改修の場合は西浦南保育園で約1億3,400万円、小鈴谷保育園で約2億3,000万円と試算。
- ただし、近年の建設費高騰により、今後増額となる可能性あり。

### (6) スケジュール

- 令和8年度前半に方針決定ができた場合、かつ、最短のスケジュールで令和11年4月から新園舎での供用開始となる。

### (7) アンケート調査における主な意見に対する市の考え

- 少子化の中での新設コストへの懸念に対して、両園とも老朽化が進んでおり、継続使用には大規模改修が必要であるため、長期的な公立園維持の観点では新設が有利である。
- 小学校に隣接する現園から場所が変わることへの懸念に対しては、公平性の観点から両園の中間地点への移転新設が望ましい。
- 統合自体への反対意見については、児童数の減少や施設老朽化を踏まえると、現行の両園の保育体制の維持は困難であり、統合は避けられない状況である。

## 6 意見聴取

### ①令和8年5月11日（月）14：30～／西浦南保育園

---

- 移転新設が既定方針のように見える中で、説明会ではどのような意見を求めているのか、また賛否の状況を改めて把握する考えがあるのか。  
→（市）移転新設の方針案を示しているものの、説明会は候補地や今後の進め方を含め幅広く意見を受ける場である。また、アンケート結果は重要な判断材料であるが、改めて賛否の人数把握のみを目的とした調査を行う予定はない。
- 提示された候補地以外に、他の場所も検討したのか。  
→（市）他の農村公園や周辺用地も比較検討したが、アクセス道路の狭さ、

- 住宅への近接、敷地形状、高低差や造成費用などの課題があったので、苜屋農村公園を候補地として選定した。
- 小学校の統廃合や学校施設との近接も含め、より広い範囲で一体的に検討すべきではないか。  
→(市) 公共施設アクションプランの中では保育園と学校施設は別枠で検討しており、保育園統合は保育園として進めていく。
  - 統合や移転により通園距離が延びた場合の就労への影響、一時保育・延長保育の活用やその費用補助の可能性はあるか。  
→(市) 一時保育や延長保育の利用料への補助は現時点で想定していない。
  - 候補地は幹線道路に近く外部から出入りしやすいため、安全面や防犯面に不安がある。  
→(市) 建物配置や壁の設置など、施設設計の中で安全対策を講じていく。
  - 新設までに一定期間を要する見込みである中で、現施設の老朽化や遊具・設備の不具合にどのように対応していくのか。  
→(市) 大規模な修繕は難しいが、移転新設までの間に必要となる修繕や安全確保のための対応は継続して行う。
  - 苜屋農村公園の敷地内で園舎と駐車場などが全て含まれるのか。  
→(市) 敷地内で十分な駐車場の確保が難しい場合には、周辺用地の活用も含めて検討する。
  - 園庭や保育環境の充実を優先してほしい。

## ②令和8年5月11日(月) 15:30~/西浦南保育園

---

- 将来の見通しが不透明な中で大きな費用を投じることには懸念があったが、工事費や将来の園児数の見通しはいずれも不確定であり、最終的には公平性の観点から移転新設という方向になることは理解できる。

## ③令和8年5月13日(水) 14:30~/小鈴谷保育園

---

- コストを抑える観点から既存園のどちらかへ集約する選択肢もあるのではないか。  
→(市) 大規模改修でも相応の費用がかかり、長期的な利用には限界があるため、新設の方が適切と考えている。
- なるべく広い土地で、子どもがのびのび遊べる環境がいい。候補地の苜屋農村公園では面積が足りないのではないか。  
→(市) 設計を考えていく中で建物自体と広い園庭が確保できるよう検討する。
- 送迎時間への影響については、距離差は大きくないとの見方がある一方、わずかな延長でも負担になる家庭がある。  
→(市) そうした事情に対応するため、保育時間を19時までとすることを

検討していく。

④令和8年5月13日（水）15：30～／小鈴谷保育園

---

※意見なし

#### 7 連絡事項

- 住民説明会の資料や議事概要は、後日、市ホームページに掲載する。
- 市ホームページに意見を求めるフォームを設定するので、追加で意見等があれば回答されたい。